VARIED OBJECTS EXHIBITION みつならび 3

お手数ですがスクロールしてご覧ください。

Ryota AKIYAMA　秋山亮太

■作品コンセプト

陶芸における「貫入」から着想を得て、粘土と釉薬を発泡スチロールと水性塗料に置き換え、素材の収縮と表面の亀裂を利用した独自の技法で制作している。発泡スチロールは熱によって大きく収縮し、その変化に伴って表面に重ねた塗料にも亀裂が生まれる。温度や塗料の厚み、水分量など、僅かな条件の違いによって収縮や亀裂の現れ方は変化し、一つとして同じ表情にはならない。このように素材そのものが持つ性質と偶発的な変化を受け入れながら、条件を調整することで、制御と偶然性のあいだに生まれる形や質感を探求している。

■プロフィール

栃木県に生まれる
栃木県益子町を拠点に、素材の成り立ちや時代背景をもとに制作を行う。
現代的な要素をフィルターにする事で価値観の更新を促し、それによって生まれたものが、人や空間に作用する事で新しい関係性や機能を生み出すことを目的としています。
自身の活動と並行しデザインコレクティブ MULTISTANDARD のメンバーとしても活動し、近年はニューヨーク、イタリアをはじめとする欧州、欧米や日本国内、台湾、上海、インドネシアなどアジア諸国を含む様々な場所で精力的に作品を発表。

Mami ANAI　あないまみ

■作品コンセプト

フロート板ガラスを切断し、その断面を残して制作しています。
切る位置や力の加え方によって、現れる形や光の表情は少しずつ異なります。
形を定めながらも、最後にどんな形が現れるかはガラスに委ねられている。
そんな素材とのやりとりから生まれた 3 点です。

■プロフィール

東京都に生まれる
2014　多摩美術大学工芸学科ガラス専攻卒業
2016　多摩美術大学大学院美術研究科工芸専攻ガラス領域修了
2014　第 2 回次世代工芸展入選　京都市美術館別館展示
　　ART MEETS ARCHITECTURE 2014 優秀賞受賞
2015　第 2 回 CAF 貫入選　Art Chiyoda3331 展示
2016　SICF17　スパイラルホール展示 (以降、SICF19,25 展示)
2018　「あないまみ個展」GALERIE SOL 展示 (以降個展・グループ展複数回開催)
2019「ART POINT in LONDON」Espacio Gallery グループ展示 , イギリス
2021「' 21 日本のガラス展」代官山ヒルサイドテラス展示 (以降 ' 24 展示)
　　「ガラスの波紋 Part3 あないまみ」小田急百貨店美術画廊展示
2022　NEW GLASS REVIEW 42 The Corning Museum Of Glass 入選 , アメリカ
2023「ガラスのかたち展」日本橋三越美術工芸サロン グループ展示
2026　現代ガラス in 山陽小野田
　　冠スポンサー田辺ファーマファクトリー株式会社賞受賞

現在、展示会での作品発表の他、a.m.glass のアクセサリー制作・販売、コミッションワークを 20 カ所を超える空間に作品を設置している。

Yasushi ICHIOKA　市岡　泰

■作品コンセプト

陶芸の伝統的技法である ロクロ成形を用いて作品を制作しています。
シンプルな筒形を ロクロで成形して、変形、カット、底をつけて形を作ります。
器は静的な印象のものが多いと思いますが、今回の作品群は、海に浮かぶヨットのように、
テーブル上に風が感じられるようなイメージで制作しました。

■プロフィール

宮城県に生まれる
1995　宮城教育大学 教育学部 美術科卒業
1997　宮城教育大学 大学院 美術科修了
1999　(財) 金沢卯辰山工芸工房陶芸工房修了
2002　宮城県に工房を構える
2021　文星芸術大学 非常勤講師 (~ 現在)

■おもな受賞歴
第 23 回 日本陶芸展 準大賞・日本陶芸展賞
第 3 回益子陶芸展 審査員特別賞
第 3 回中国青・上林杯 国際青磁ビエンナーレ銀賞
平成 27 年度宮城県芸術選奨新人賞 等
全国各地で個展、グループ展などを中心に活動

Youri INOUE　井上悠理

■作品コンセプト

「風景の気配」は、都市にひそむ風景を捉えたオブジェシリーズです。
街を歩く中でふと目に留まる、道端の植物や種、側溝や水路、屋根やビルがつくる連続した輪郭など、自然と人工物が織りなす風景の断片を手がかりに、そこに潜む動きや時間を形にしています。
「ひらく」「めぐる」「つづく」
生命がひらき、流れがめぐり、都市の風景がつづいていく。
三つの形を通して、都市の中に潜む風景の気配を見つめます。

■プロフィール

東京都に生まれる
2018　武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科金工専攻卒業
2020　同大学院修了
現在は東京郊外に工房を構え、制作活動を行う

■おもな展覧会
2021　個展「some more.」Grand Bleu Gamin（沖縄）
2023「造物者 | 日本当代艺术家器物作品展」山上艺术空间 (中国・福建省)
　　「SICF24 EXHIBITION 部門」SPIRAL（東京）
2024「SICF25 EXHIBITION 部門」SPIRAL（東京）
2026　個展「 交わりの風景」（東京）

■おもな作品設置
NOZO HOTEL（北海道）
チャームプレミア代々木初台、チャームプレミアグラン松濤 ほか
プライベートヴィラ「Grand Bleu Gamin」（沖縄）
サークルクリニック茅ヶ崎（神奈川）

Aiko UESHIMA　上島あい子

■作品コンセプト

「happy-seed」と名付けた「ドットのついたガラスの玉」。
あちこちに飛んで行き、花になり実になりしている。
そんなハッピイシードの入ったガラスのオブジェです。
3 点の色の変化も楽しみたい。

■プロフィール

東京都に生まれる
1977　武蔵野美術短期大学工芸デザイン科卒業
1982　ガラス工房「ガラスハウス宙」を佐藤万里子と立ち上げ参加（〜' 92）
1988「ARTE EM VIDORO 」サンパウロ美術館
1990「'90 日本のガラス展」プリチストン美術館賞
1994「日本の現代ガラス展」ハバタットギャラリー /USA
2001「日本ガラス工芸協会選抜展 GLASS ART 2001」銀座和光ホール
　　('04,' 07,' 10)
　　「日本の現代ガラス展」ガラスピラミッドギャラリー / ハンガリー
2004「国際ガラス展・金沢 2004」石川 (' 10)
2006 「The Collect Exhibition」V&A 美術館 / ロンドン
2011「Glass・今日展」日本橋三越本店 (' 13~' 19)
　　「ガラスの波紋」小田急新宿店美術画廊 (〜' 13,' 16~' 19)
2019 「ガラスアート展」栃木商工会議所大ホール
2020「ガラスのかたち展」日本橋三越本店 (~' 26)
現在　日本ガラス工芸協会副理事長
■おもな収蔵先
コーニングガラス美術館（USA）、富山市、石川県能登島ガラス美術館

Maki OI　大井真希

■作品コンセプト

自然が持つ形やリズム、人の身体の動きとの関係性に着目して制作しています。
造形の着想源として、故郷に伝わる伝統文化「おわら風の盆」の踊りの所作を手がかりとし、その緩やかで連続的な動きを陶の形へと再構成しています。
土の持つ質感や量感を通じて、風土に培われた記憶や身体感覚が静かに伝わることを願っています。

■プロフィール

富山県に生まれる
1995　富山県富山市八尾町出身
2017　多摩美術大学 美術学部 工芸学科 陶専攻卒業
2019　筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻クラフト領域修了
2024 - 金沢卯辰山工芸工房 陶芸工房 専門員
■おもな個展
2019〜　東京、茨城、石川で開催
■おもな受賞
2018　第 54 回神奈川県美術展／県立近代美術館賞 神奈川県立近代美術館 収蔵
2019　平成 30 年度 博士前期課程芸術専攻修了作品／茗渓会賞 筑波大学 収蔵
2022　公益財団法人現代美術文化振興財団／第 7 期生
2022　第 4 回いりや KOUBO ／大賞 いりや画廊 収蔵
2025　公益財団法人現代美術文化振興財団／第 14 期生
2026　第 82 回 金沢市工芸展／北國新聞社社長賞
2026　KAIKA TOKYO AWARD 2026 ／入選

Kaoru

■作品コンセプト

生命の持つ静かながらも力強い変化、そして成長への予感を表現しました。
卵を思わせる形から、誕生と可能性を匂わせる『内包』。
生命が外へと動き始め成長を思わせる『息吹』。
蛹や繭のように螺旋が解け開こうとする瞬間を思わせる『兆し』。
3 つの造形によって未来へと繋がっていく生命の神秘を感じて頂ければ幸いです。

■プロフィール

神奈川県に生まれる
1995　東京藝術大学美術学部工芸科陶芸専攻卒業
1997　東京藝術大学大学院 修士課程修了
1998　東京藝術大学研究生修了

個展、グループ展多数開催
資生堂ベネフィークボトルキャップデザイン
双葉の箸置き意匠特許取得
表千家宗匠に茶碗納品
少林山達磨寺より達磨作品依頼
その他、雑誌・書籍掲載多数

Kanako KAI　甲斐可奈子

■作品コンセプト

蓮の葉の上をころころと転がる水滴。その水滴が光を受けて輝く様子に惹かれ、作品にしました。
自然の中で刻々と姿を変える水滴を金属の上に留めることで、移ろう時間と静かな美しさを表現しています。
光を受けるたびに表情を変える錫の質感に、水滴の丸みや反射が重なり、静かに佇む蓮の葉の姿を形にしました。

■プロフィール

宮崎県に生まれる
2008　京都伝統工芸専門学校金属工芸科卒業
　　京都の金属工芸工房にて、主に鍛器を中心とした金属工芸品の制作に従事
2016　独立し、綾 METALWARE として作家活動を開始
2022　京都にて自身の作品とセレクトした工芸品を扱う
　　Craft Gallery SALUK をオープン
2025　個展「追憶」（南禅寺参道菊水 / 京都）

Amane KADO　角　海音

■作品コンセプト

Dance of Light
最近始めたピラティスの身体の伸びの感覚。地面から水を吸い上げる太極拳の動き。光に向かって伸びていく植物の姿。それらは、人間の身体が持つ本来のしなやかな動きと美しく重なり合います。身の回りに起こる様々な出来事や、移り変わる 世界の動向。それらの間を行き来しながら、私もまだ出会ったことのない新しい造形を求めてひたすら手を動かして制作しました。伝統的な藍染めで染めた金属は植物の生命力を宿し、光を受けた瞬間にきらめきを放ちます。私にとっても新しい風景そのものです。金属のきらめきと有機的な造形の出会いを通じ、日々の暮らしの中にある、小さくも力強い生命の循環を感じていただけたら幸いです。

■プロフィール

1983　神奈川県に生まれる
2006　武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科金工専攻卒業
2020「UMIOTO」を立ち上げ、風景が奏でる音やかけらからイメージして、
　　唯一無二の真鍮を藍染めした装身具やオブジェを制作している。

■受賞歴
2005「第 9 回岡本太郎現代芸術賞」入選
2025「SICF26」MARKET 部門グランプリ

■展覧会
2025「77NEEDLEWORKS/UMIOTO」スパイラルマーケット アトレ吉祥寺
　　「その人の美意識、感性を香りとして纏う」三越伊勢丹新宿本館 / 東京
2026「SICF26」MARKET 部門グランプリアーティスト展
　　UMIOTO「WATER FLOW」

Asako KAWACHI　河内あさこ

■作品コンセプト

とけあっている感覚。記憶の気配。
それが過去なのか、未来なのかもわからないけれど、たしかに知っている、憶えている。
境界のない海。その感覚に触れるとき、甘くてやさしい、とろけるような安心に包まれます。
「ここがほんとう。」そんな感覚が、しずかに訪れます。
世界はひとつに戻ったように、うっとりしています。
種の中で花がまだ姿を見せない音のない時間の中でこそ、その光はゆっくりと育まれています。

■プロフィール

富山県に生まれる
2014　関西学院大学 社会学部 文化人類学専攻 卒業
2018　富山市立富山ガラス造形研究所 造形科 卒業
2021　金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房 修了
現 在　富山県を拠点に制作

Taro KAWANO　河野太郎

■作品コンセプト

「森」をテーマに、鋳金技法により制作しています。森と人との中にある正と負の歴史、生と死の存在。
そこにあるいくつかの共鳴、いくつもの境界、矛盾すらをも含んだ事柄を見つめること。
表層だけ変化しながらも、本質は変わらないまま繰り返されている事柄と向き合うこと、これらが制作の理由の一部です。
闘争の時代を越え、共生の時代すら越えた先にある空虚を受け容れ暮らしていくために、作品や作家としての在り方を日々模索しています。

■プロフィール

1991　三重県に生まれる
2016　金沢美術工芸大学 大学院修士課程 工芸専攻 鋳金 修了
2018　金沢美術工芸大学 鋳金 実習助手・非常勤講師（〜2025）
現 在　石川県加賀市に工房を構え、活動中

Masayuki KANDA　神田正之

■作品コンセプト

楽しく元気になるガラスをつくり続けたいと思っています。

■プロフィール

東京都に生まれる
1982　多摩美術大学立体デザイン科ガラスコース卒業
1989　デンマーク政府給費留学生としてデンマーク・デザインスコーレ
　　（ガラスコース）
　　デンマーク王立美術アカデミー（空間芸術研究室）にて制作（〜 '93）
1996　96 日本のガラス展（以後毎回出展）
2003　第 2 回 KOGANEZAKI・器のかたち・現代ガラス展
　　日本ガラス工芸協会賞受賞
2005　第 2 回現代ガラス大賞展・富山 2005、奨励賞受賞
2009　個展（大阪高島屋、以後 '11、'13、'16、'18、'21、'25）
2013　個展（日本橋高島屋、以後 '15、'17、'19、'22、'25）
現 在　日本ガラス工芸協会　理事長

Ryota KANNO　官野良太

■作品コンセプト

波のきらめき、海の青さ、水面の向こうに見えるもの。
日常の中でふと心に残る風景を手がかりに、エポキシ樹脂を削り出して制作しています。
金魚や蝶は、その風景の中に現れる小さな存在です。
深い青や白の色彩、光を受けて変化する表情の中に、それぞれの記憶や物語が静かに重なり、新たな情景が立ち上がります。
作品が、見る人の心に残る風景や時間と響き合うことを願っています。

■プロフィール

1998　神奈川県に生まれる
2013　東京藝術大学大学院美術教育修了

2022「pool」米魚ギャラリー (北京)
2023「残響」NEPTUNE GALLERY(台北)
　　「波光粼粼」磐廷建設 (台中)
2024「官野良太個展 - 波の音 -」Hideharu Fukasaku gallery Roppongi(東京)
2025「慢・游 TOUR」NEPTUNE GALLERY(台北)
2026「自然のデザイン」Seibundo Gallery(東京)
　　「棲息寓域」富貴三義美術館 (新北)
　　「ART TAICHUNG 2026」Taipei World Trade Center(台北)
　　「棲息寓域（Dwelling Forms）富貴三義美術館 (新北)

Taro KITAGAWA　北川太郎

■作品コンセプト

作品が周りの空間の魅力を引き出す存在となればと願って制作しました。

■プロフィール

兵庫県に生まれる
2000　金沢美術工芸大学彫刻専攻 卒業
2007　愛知県立芸術大学大学院彫刻専攻 修了
2007　文化庁新進芸術家在外研修員 (3 年派遣員) ベルー
2023　文化庁新進芸術家在外研修員 (短期派遣) イタリア
■おもな個展
2010　Museo Pedro de OSMA(ベルー、リマ市)
2011　クスコ市立現代美術館 (ベルー、クスコ市)
2013　西脇市岡之山美術館、2022　あさご芸術の森美術館 (兵庫)
2016　瀬戸内市立美術館、2019　奈義町現代美術館 (岡山)
2020　高梁市成羽美術館 (岡山)
2021　ときわ湖水ホールアートギャラリー (宇部) '22
2024　兵庫県立美術館（兵庫）
■おもな展覧会
2022　DOMANI・明日展 (国立新美術館 / 東京)
2025　瀬戸内国際芸術祭 2025（屋島 / 香川）
2026　Symposium Norge(ノルウエー)

Myu KUMASAKA　熊坂美友

■作品コンセプト

《Carpe Diem》シリーズは、移ろいゆく自然の一瞬一瞬を、金属の表面に彫りの痕跡として刻み込むことで積み重なる時間や記憶を表現しています。
ひとつひとつの彫りは、過ぎゆく時間を留めるように刻まれ、その痕跡が重なり合うことで作品を形づくります。
限りある命のなかで、「今この瞬間を生きること」の尊さを問いかけます。

■プロフィール

東京都に生まれる
2023　東京藝術大学大学院美術研究科彫金研究分野修了
大学院修了後、同大学の彫金研究室にて教育研究助手を務める
日本の金工技法を基盤に、時間や記憶をテーマとしたアートジュエリーやオブジェを制作
中国・瀋院ビエンナーレ、ミュンヘン、ロンドンなど国内外で作品を発表
2026　Homo Faber Fellowship に選出
現 在　ヴェネツィアおよびフランスで研修・制作に取り組んでいる。

Shiori SATO　砂糖塩リ

■作品コンセプト

＜奇奇奇盆栽＞は、盆栽の「見立て」を熱によって流れ、冷めることで固まるホットメルト接着剤を素材とし盆栽の空間性を再構成する作品です。
『梅もどき』『夕霧』『雛桜』の三つの立体は、秋冬から季節の境界の夕霧を経て、春へ向かう季節の物語を描きます。
環境温度の変化によって四季の輪郭が揺らぐ現在、私たちはどのように季節の気配を感じ、変化し続ける
未来をどこまで想像できるのかを問いかけます。

■プロフィール

東京都に生まれる
2025　武蔵野美術大学空間演出デザイン学科 卒業
2026　武蔵野美術大学院 研究科デザイン専攻 空間演出デザイン 在学中
■おもな展覧会
2022　GAISAI21 出展
2023　GAISAI22 出展
2024　SANZOU TOKYO 初個展奇奇盆栽展
2025　空間演出デザイン学科卒業制作選抜展出展
　　第二回奇奇盆栽展下北沢 SANZOU TOKYO
　　SICF26 出展
　　REIJINSHA GALLERY FIRST CONTACT 出展
　　空間芸術 TORAM 第 16 回躍動する現代作家 出展

Masaki TANAKA　田中雅樹

■作品コンセプト

長い年月を経た巨木や風化した石の表情に惹かれ制作しました。木は何千年、石は何万年もの間、ずっと人のそばにいて、その営みを見つめてきました。その間数えきれない程の朝を迎え、夜を越し、その度に朝焼けの、夕焼けの空の光を浴びてきました。
ガラスが光を受けた時の表情から、そんな様子を思い浮かべ、古くからそこに存在した木や石のように、人々の営みを見守っていくようなものを作りたいと思いました。

■プロフィール

神奈川県に生まれる
2005　多摩美術大学工芸学科ガラス専攻 卒業
　　第二回かわさき現代ガラス展 グランプリ
2006　神戸芸術工科大学 造形表現学科 現代クラフト専攻 実習助手
2010　富山ガラス造形研究所 助手
2013　千葉県富津市にて制作
2020　第 10 回 雪のデザイン賞 奨励賞 (中谷宇吉郎雪の科学館)
2023　多摩美術大学工芸学科 非常勤講師

■おもな収蔵先
富山市ガラス美術館（富山）、中谷宇吉郎雪の科学館（加賀）
神戸市立医療センター中央市民病院（神戸）、和泉市立病院（大阪）
■おもな掲載
別冊炎芸術「ガラス工芸家 100 人—現代日本の精鋭たち」2021 年刊行／阿部出版

Yuu TRTSURA　鐵羅　佑

■作品コンセプト

鉄製の円を人の形や繋がりに見立て、抽象化された情景から感情を表現する連作。家族、血縁、恋人、パートナーなど、私の中でポジティブとされる関係性に焦点を当て、純粋な慈しみの感情だけを表現する。
また、表面の肉盛りによる輪郭の歪みによって無機物を有機化し、人らしさを表出させる。
そこに一つの感情だけでなく人が人たる矛盾や歪みを含ませる。それによって単なる情景や一過性の感情だけを表現するものではない彫刻を生み出す。

■プロフィール

1998　愛知県に生まれる
2023　京都精華大学 大学院芸術研究科芸術専攻 修士課程 修了

2022「あまがさきアートストロール 2022」（阪神尼ヶ崎駅周辺 / 兵庫)
　　「瀬戸内国際芸術祭 2022」(高見島 / 香川)
　　「大地の芸術祭 越後妻有 2022」(旧枯木又分校 / 新潟)
　　「MUSIC LOVES ART 2024-MICUSRAT-」（阪急サン広場 / 大阪)
2025「大府市まちなかアートコンテスト」優秀作品賞 (愛知)
　　「鐵羅佑 個展 五千度の庭」（ギャラリーヒルゲート / 京都)
　　「第 2 回あさごビエンナーレ 2025 入賞・入選作品展」優秀賞・PONKO 賞
　　（あさご芸術の森美術館 / 兵庫)
2026「大本山 妙蓮寺 春の特別拝観 2026 呼応」(大本山妙蓮寺 / 京都)
　　「いりや KOUBO 2026 受賞者作品展」準大賞 (原武典賞) (東京)

Yoko TERAI　寺井陽子

■作品コンセプト

人は自然のほんの一部
私の『作る』が意味を持ちはじめたのは
土や木や水や虫のそばで暮らすようになってから
涙がこぼれるほど美しい生の循環や
死までも意識してしまうような恐怖
また地球が怒ってる
そんなため息が日常のようになってしまった
人はもう少し謙虚に生きてもいいのでは と思う
ならば ちっぽけな私は 大好きな草花のために
そこへ集う鳥や虫たちのために
水を湛えるうつわとなってみよう

■プロフィール

兵庫県に生まれる
1995　京都市立芸術大学 陶磁器専攻卒業
2011　兵庫より宮城県仙台市に工房移設
国内外にて個展

■コミッションワーク
エクシブ京都 八瀬離宮 , パレスホテル東京 , リッツカールトン京都
コンラッド大阪 , ロッテアライリゾート , フォーシーズンズ京都 他

Mamoru NAKATA　仲田　守

■作品コンセプト

今までは鋳造で作品を制作して来たが、今までとは違う発想、異なる表現を試みたく思った。
金属の特性は何だろう？と考えた時にアルミニウムの温かさ、アルミ板の柔らかさ、流れるような形に興味が湧いた。
アルミ板を使ってどのような表現が出来るだろう。
そして自分は見る人に何を伝えたいのか？何を感じて欲しいのか？そのような観点から作品を制作した。

■プロフィール

千葉県に生まれる
1980　東京藝術大学大学院鋳金専攻修了

1989　ヘンリー・ムーア大賞展優秀模型入選（箱根）' 91
1990　第 12 回神戸須磨離宮公園現代彫刻展入選（須磨）
1992　KAJIMA 彫刻コンクール展優秀模型入選（東京）' 94 ' 96 ' 98
1993　OUR 徳島彫刻大賞展優秀模型作品優秀賞受賞（徳島）
1997　第 4 回倉敷まちかどの彫刻展優秀模型入選（倉敷）' 03
2000　第 2 回佐野ルネッサンス鋳金展優秀賞受賞（佐野）
2007　桜の森彫刻コンクール展受賞（秋田）' 08
2015　第 4 回あさごアートコンペティション 2015 竹泉賞受賞（朝来）
2023　第 30 回 UBE ビエンナーレ優秀模型入選（宇部）

Yuya NAKATSU　仲津佑哉

■作品コンセプト

陶芸の制作過程には、制御と非制御という二つの相反する力が働き、造形や表情が現れます。
それらは、人と自然、思考と実践など、さまざまな二項として捉えることができます。
互いに相剋しながら、影響を与え、同時に支え合うその関係は、制作を前へ進める力になります。
この進んでいる最中にある一時の姿が、風や波のように、陶のかたちに現れます。

■プロフィール

1994　兵庫県に生まれる
2017　金沢美術工芸大学 美術工芸学部デザイン科環境デザイン専攻 卒業
2024　多治見市陶磁器意匠研究所 技術コース 修了
2025　多治見市陶磁器意匠研究所 セラミックスラボ 修了
現在　金沢卯辰山工芸工房　在籍

2024「やきものの現在 土から成るかたち in KOGEI Art Fair Kanazawa
　　2024」（石川）
2025「誘惑するかたち」gallery VOICE（岐阜）
　　「THE HEADLINERS 2025」茨城県陶芸美術館（茨城）
　　「Haute Moments Gallery vol.1」ニセコ東急 グラン・ヒラフ（北海道）
　　「はじまりのかたち」松坂屋名古屋（愛知）
2026「2026 WHATZ International Contemporary Art Fair」（台北 , 台湾）
　　「ON THE WALL -18 人の陶の表現 -」とうしん美濃陶芸美術館（岐阜）

TAKU NISHIMURA

■作品コンセプト

昨日の道にあった石ころはどんな形だった？　通り過ぎたポスターにはなにが書いてあった？　さっきすれ違った誰かはどんな顔だった？
私は「意識の外にある／日常を通り過ぎていくモノ・コト」をテーマに、木材、透明樹脂、廃棄物など様々な素材・技法を用いて制作しています。
本展ではいつか見た「道端の石ころ」を頭の中で探りながら、異なる 3 つのアプローチで制作しました。
三様の石ころをぜひお楽しみください。

■プロフィール

1990　岐阜県に生まれる
2016　多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程 彫刻専攻 修了
■おもな個展
2018　銀座蔦屋書店主催「拡張都市」(銀座蔦屋書店 / 東京)
2020 こんにちは、世界。(ノリタケの森ギャラリー / 愛知)
2022「scramble」ラフォーレ原宿「愛と狂気のマーケット」(東京)
2023「ボクノネ　キミノネ　ヒトノネ」(一般社団法人ヒトノネ / 岐阜)
2024　SK 鉱産株式会社 ×TAKU NISHIMURA「未来の都市を作ろう」
　　(メディアコスモス / 岐阜) (以降、毎年開催)
2026「GARAGE」ギャラリイ K（東京）
■おもなグループ展
2018 POLA× 銀座蔦屋書店主催「美をとうとぶ」銀座蔦屋書店・二子玉川蔦屋家電
2025 未来航路（大阪関西万博 / 大阪）
2026 SICF27（スパイラル / 東京）
■おもな受賞
2013「二科展」入選
2020「若手彫刻家助成金」河野文化財団
2023「COIL Upcycle Art Contest」ファイナリスト
2024「Frau ethical award 2024」受賞

Haruna MIZOGUCHI　溝口春菜

■作品コンセプト

いつかの何処かでの自身の心象風景を和紙と墨で平面表現しそれらを石に纏わせた立体オブジェ。
手にとって 和紙の質感や 石の重み温もりを体感したり、作品と一体になり 自分の体温と石との温度差を感じたり、眺めて立体の美しさを楽しんだり、
それらの行為でリアルに " 今・此処・その瞬間 " を感じ自分と作品との対話を楽しみ体感する。

■プロフィール

東京都に生まれる
1995　女子美術短期大学 生活デザイン テキスタイル課 卒業
1998　大塚テキスタイルデザイン専門学校 卒業
1998　本田技術研究所 (HONDA) カーデザインセンター勤務
2006　サンエーインターナショナル勤務 テキスタイルデザイナー
2013~ 現在　テキスタイルアート・墨と和紙によるドローイング 制作
■コミッションワーク
HOTEL AMAM（麻布台ヒルズ

Sakura MITSUNOBU　光延咲良

■作品コンセプト

短冊状の金属を編み、形を立ち上げることで、空洞と張りぼての造形手法である「鍛金」という技法の可視化を行う。

■プロフィール

福岡県に生まれる
2020　長岡造形大学造形学部美術・工芸学科クラフトデザインコース鍛金 卒業
2023　長岡造形大学大学院造形研究科修士課程美術・工芸領域 修了

2024　町屋ラボ 小須戸 ART プロジェクト 2024
　　宗像大社 宗像みあれ芸術祭
　　雪梁舎美術館 工藝 2024 次代を担う若手作家展
　　環境芸術学会第 25 回記念大会 口頭発表
2025　オリエアート・ギャラリー 環境芸術学会企画 若手制作研究展 2025
　　長岡アートコレクティブ模様 大学職員有志作家グループ展 雲の下、丘の上
　　アーツカウンシルしずおか マイクロ・アート・ワーケーション旅人
2026　環境芸術学会オンライン大会 口頭発表

Tomoko MIYAUCHI　宮内知子

■作品コンセプト

わたしのオブジェはいつも、木を接ぎ合せて成形後、できるだけ薄くつくって、成形するのですが、今回は木の塊で、どのように表現できるかと思い、制作しました。

■プロフィール

東京都に生まれる
1993　武蔵野美術大学短期大学部専攻科陶磁コース修了

1996　木の制作を始める
2002　小田原木のクラフトコンペ　奨励賞 (神奈川)
2003　朝日現代クラフト展　入賞
　　工芸都市高岡 2003 クラフトコンペ　入賞
　　ハンズ大賞 入選
2006　朝日現代クラフト展　優秀賞
　　工芸都市高岡 2006 クラフトコンペ　審査員賞
2013　京都　南山城村にて工房開設
他、個展、グループ展多数開催

Chisato YASUI　安井ちさと

■作品コンセプト

Theobroma, Bone charactors ともに、「わたしたちの目には映らなくても、わたしたちの肉体を通じて捉えることのできる存在との交信」をテーマとしています。
わたしにとって、陶磁という素材やその造形プロセスは、わたしたちの存在の深くに横たわる水脈（血脈）のような場所にいつでも回帰させてくれます。生きること、在るということ、その深淵で捉えたかたちたちです。

■プロフィール

愛知県に生まれる
2007　筑波大学芸術専門学群芸術専攻構成領域卒業
2010　筑波大学大学院博士前期課程人間総合科学研究科
　　芸術専攻デザイン領域陶芸 修了
2021　第 55 回女流陶芸展　入選（京セラ美術館 / 京都）
　　ITSLIQUID INTERNATIONAL CONTEST 8th EDITION
　　The prize winning of International Contemporary Art Exhibition in Venice（イタリア）
2023　The 30th Grottaglie Contemporary Ceramic Prize Competition
　　審査員特別賞（グロッターリエ / イタリア）
2024　第 13 回国際陶磁器展美濃 入選（セラミックパーク MINO / 岐阜）
　　XVI Aveiro International Artistic Ceramics Biennale
　　審査員特別賞（ポルトガル）
2025「Collect Art Fair 2025」/AIFA、Somerset house（イギリス）
　　「BRAFA ARTFAIR 2025」(Galerie Hioco Asian Art/ ベルギー）
2026　個展「Monad」(Spazio Nobile Gallery/ ベルギー）
　　「PAD Paris2026」(Spazio Nobile Gallery/ フランス）

Risako YAHAGI　矢作理彩子

■作品コンセプト

光、物質性、変容をテーマに、素材の影と光の移ろいから時間の経過を主題として表現する。
今回の作品は具体的な相手や目的を持たず、ただ存在することで私たちに気づきをもたらす野山に咲く花の姿を、花への敬意を込め制作した。喧騒から離れるために山に分け入っていても、そこに美しい自然物があれば伝えたい人が浮かぶのではないかと、人間が本来持つその利他への想いとその希求に静かに光を当てる存在として重ねている。

■プロフィール

千葉県に生まれる
2003　東京ガラス工芸研究所研究科修了
2002　Yuki Uchimura, Studio of Art & Craft 講座助手　〜05
2007　大阪芸術大学芸術学部工芸学科ガラス工芸コース非常勤嘱託職員
　　（技術指導員）〜11

2012　International Glass Prize 2012 GLAZEN HUIS（ベルギー）
2013　The 8th Cheongju International Craft Competition"（韓国）
2014　"SCOPE" BASEL, Gallery G-77（スイス）
2017　"Modern Masters" The International Trade Fair（ドイツ）
2017　LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 大阪府代表
2020　"London Art Fair" Gallery G-77（英国）
2023　International Biennale of Glass in Bulgaria 2023（ブルガリア）
2025　"miratap Art Award / Art in The House 2025" グランプリ受賞

■おもなコミッションワーク
志摩観光ホテルザクラシック ゲストラウンジ（三重）
あべの泰清寺 涅槃堂加也（大阪）硝子仏像 硝子光背

Yuto YAMAZAKI　山崎悠人

■作品コンセプト

木彫刻技法におけるカービング（彫る、削る）にモデリング（付け足す、組み合わせる）技法を多用し、その可能性を探り作品展開しています。

■プロフィール

1983　福岡県に生まれる
2007　武蔵野美術大学彫刻学科卒業
2009　武蔵野美術大学大学院美術専攻彫刻コース修了

特定のコンセプトを決めず、日常生活を彩り、質を高めるものとして木彫作品を制作している。
日々、手作業に没頭する無意識の状態でつくり出される木彫は、大小様々なサボテンや、うねった幹に咲く花など、生命力を感じさせる観葉植物を主なモチーフとし、また日用品や食べもの、キャラクターをかたどった作品も手がけている。
これまで個展開催、グループ展参加。

Kokoro YOSHII　吉井こころ

■作品コンセプト

このシリーズは、私たちが物そのものではなく、記号や記憶によって世界を認識していることを問う。
独自に開発した、ガラスを溶かしながら顔料を焼き付けしていく「虚彩技法」により、誰もが知る工業製品の姿をガラスの内部に空気として表現する。実物と虚像、物質と記憶。その境界に立ち現れる「それらしさ」こそ、私たちが無意識に共有する〈概念〉の姿である。

■プロフィール

東京都に生まれる
1998　多摩美術大学美術学部デザイン科ガラスコース卒業
2018　東京藝術大学美術研究領域 工芸専攻修了
2022　シドニー大学芸術社会学部（〜2023）
2024　東京藝術大学美術研究領域後期博士課程修了

2008　神奈川県美術展 大賞受賞・大一美術館現代ガラス大賞展 (愛知)
2011　富山現代ガラス展・神奈川県美術展
　　黄金崎クリスタルパーク「器のかたち」入選 2012 年
2014　山陽小野田現代ガラス展 入選
2021　日本ガラス工芸協会 (JGAA) 賞 受賞・国際工芸アワードとやま 2020 入選
2022　国際ガラス展金沢 2022 入選
　　SYDNEY CRAFT WEEK(オーストラリア) 入選
2024　日本ガラス工芸協会 (JGAA) 賞 受賞・日本美術展 (日展) 入選
2025　日本美術展 (日展) 入選・第 5 回 和文化グランプリ 奨励賞受賞